

まちづくり交付金 事後評価シート  
三郷中央地区

平成20年12月

埼玉県三郷市

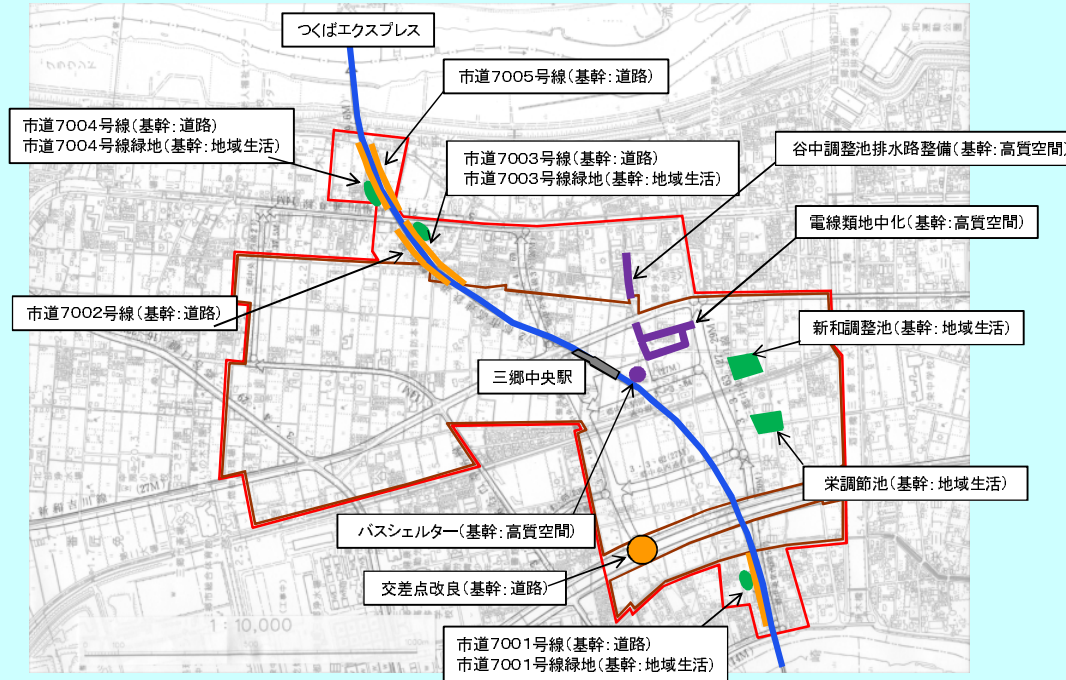
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	三郷市	地区名	三郷中央地区			面積	150.8ha				
交付期間	平成16年度～20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	1,045百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	道路事業(5路線)、地域生活基盤施設(緑地5箇所)、高質空間形成施設(電線類地中化、バスシェルター)											
	提案事業												
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業	地域生活基盤施設(①緑地3箇所、②総合案内板) 高質空間形成施設(③交差点植栽柵、③植栽ベンチ、④公衆用トイレ)		①用地が確保できないため。②他の助成制度で設置。③区画整理事業の道路築造が遅れたため。④他の助成制度で設置			影響なし						
提案事業	なし												
新たに追加した事業		基幹事業		道路(交差点改良) 高質空間形成施設(谷中調整池排水路整備)			駅へのアクセス改善と歩行者の安全確保			影響なし			
提案事業	なし												
交付期間の変更		当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	地区内緑地率	%	3	H16	5	H20		5	○	ありなし	計画どおりに緑地を整備できた。	H21年4月
	指標2	生活環境評価(市民意識調査)	%	34	H14	50	H20		43	△	ありなし	● 評価は従前より上がったが、まだ工事中の箇所があるため目標値までは上がらな	H21年4月
	指標3	地区内人口	人	1,864	H15	2,500	H20		2,660	○	ありなし	● 新駅へのアクセス向上と区画整理の進捗により順調に人口が増えている。	H21年4月
	指標4										ありなし		
指標5										ありなし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	公園設計における住民ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備後の公園の日常管理について、地元町会などに委託する予定。						
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり懇談会	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も定期的に開催する予定。						

## 様式2-2 地区の概要

三郷中央地区(埼玉県三郷市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標 つくばエクスプレス整備にあわせて行う親水環境を活かした市の新しいアメニティに配慮した都市空間の創造 目標1 土地区画整理事業の整備にあわせて水と緑をいかした基盤整備を行うことにより、水と緑を体感できるまちづくりを目指す。 目標2 歩行者空間の整備等による新駅への人の動線を確保し交通環境の改善を図ることにより、安全で安心できるまちづくりを目指す。 目標3 新駅周辺の都市機能整備により、市の新たなシンボルとなる都市拠点を形成する。	地区内緑地率	単位: %	3	H16	5	H20	5	H20
	生活環境評価(市民意識調査)	単位: %	34	H14	50	H20	43	H20
	地区内人口	単位: 人	1,864	H15	2,500	H20	2,660	H20
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業が順調に進展し、駅周辺は基盤整備が完了しつつあるが、市の新しい拠点として駅前のにぎわいに欠けている。</li> <li>土地区画整理区域外については、新駅開業の影響で開発等が進み新駅への交通量も増えている。</li> <li>地区の中央を流れる第二大場川については、周辺の親水的な整備は完了したがゴミが浮いたり雑草が生えるなど景観的にはよくない。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の商業地域については、これから地権者によるビルドアップが図られる。市としても駅周辺のにぎわい創出のため企業や商業施設の誘致を行い、地権者への情報提供等を行う。また、タウンガイドを活用し街並みや景観に配慮した建物の建築をお願いする。</li> <li>土地区画整理事業の進捗にあわせて地区境の道路整備を行う。また、区画整理地区外の交通量の多い道路などについて、改良工事や水路改修による歩道整備等を行い歩行者等の安全を確保する。</li> <li>第二大場川について、地域住民や企業の協力のもと美化運動を継続する。また、川に浮かぶ噴水等を整備し癒しのスポットとなるような環境を目指す。</li> <li>駅前に公益施設用地として市の所有地がある。住民のニーズや市全体の公共施設の配置を検討し有効に活用する。将来的には複合的な施設となる予定だが、当面は駅周辺のにぎわい創出とまちづくりの拠点となるような暫定的な施設を設置する予定である。</li> </ul>

# まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

## (1) 成果の評価

### 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		生活環境評価(市民アンケート)の「歩道・信号等の道路対策」に関する満足度について、従前の34%から45%を目指す。	数値目標を50%に上方修正。	地域住民の要望により、街路灯設置など追加したため、アンケート調査の評価が上がると思われるため。
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道7001号線	230	L=243m	147	L=243m	用地費と工事費の減	影響なし	●	
道路	市道7002号線	182	L=263m	143	L=263m	用地費と工事費の減	地域住民の要望により工事を追加したため、アンケートの満足度評価が上がると見込めるため数値目標を上方修正。	●	
道路	市道7003号線	236	L=277m	166	L=277m	用地費と工事費の減	地域住民の要望により工事を追加したため、アンケートの満足度評価が上がると見込めるため数値目標を上方修正。	●	
道路	市道7004号線	90	L=218m	62	L=218m	用地費と工事費の減	影響なし		●
道路	市道7005号線	82	L=219m	57	L=219m	用地費と工事費の減	影響なし		●
道路	交差点改良	-	-	70	A=1,200㎡	平成18年に計画変更して追加	影響なし	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	市道7001号線緑地	47	A=295㎡	28	A=172㎡	用地縮小	影響なし	●	
地域生活基盤施設	市道7002号線緑地	31	A=179㎡	-	-	平成18年に計画変更して削除 周辺地権者から売却の要望があり中止	-		
地域生活基盤施設	市道7003号線緑地	85	A=481㎡	75	A=511㎡	用地の増と工事費の減	影響なし	●	
地域生活基盤施設	市道7004号線緑地	56	A=565㎡	17	A=416㎡	用地と工事費の減	影響なし		●
地域生活基盤施設	市道7005号線緑地	20	A=195㎡	-	-	平成18年に計画変更して削除 周辺地権者から売却の要望があり中止	-		
地域生活基盤施設	第二大場川(緑地)	54	A=1,400㎡	-	-	平成18年に計画変更して削除 用地が確保できないため中止	-		
地域生活基盤施設	栄調節池(緑地)	58	A=2,000㎡	48	A=2,000㎡	工事費の減	影響なし		●
地域生活基盤施設	新和調整池(緑地)	73	A=2,000㎡	42	A=2,000㎡	工事費の減	影響なし		●
地域生活基盤施設	総合案内板	11	1箇所	-	-	平成18年に計画変更して削除 他の助成制度(宝くじ助成命)により整備	-		
高質空間形成施設	交差点部植栽樹	10	12箇所	-	-	平成18年に計画変更して削除 区画整理による道路築造が遅れているため事業中止	-		
高質空間形成施設	区画道路電線類地中化	58	2路線	26	2路線	区画整理の家屋移転が遅れているため事業縮小	影響なし		●

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高質空間形成施設	バスシェルター	226	2箇所	139	1箇所	平成19年に計画変更して削除 連続シェルターの一部について他の助成制度 (宝くじ助成金)により整備	影響なし	●	
高質空間形成施設	植栽ベンチ	28	61箇所	-	-	平成19年に計画変更して削除 区画整理による道路築造が遅れているため事業 中止	-		
高質空間形成施設	公衆用トイレ	38	1箇所	-	-	平成19年に計画変更して削除 駅前近隣公園にトイレを設置したため事業中止	-		
高質空間形成施設	谷中調整池排水路整備	-	-	25	L=170m	平成18年に計画変更して追加	影響なし	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと





添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし	
指標1	地区内緑地率	%	区域内の緑地等を図上計測し、評価基準日までに整備される緑地面積を加算して算出。	-	3	H16	5	H20	モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み ●	5	事後評価	○	
指標2	生活環境評価(市民意識調査)	%	三郷市市民意識調査を行い、「歩道・信号等の道路対策」について「満足」「まあまあ満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階評価のうち、「満足」「まあまあ満足」「普通」の割合を求める。	-	34	H14	50	H20	モニタリング			モニタリング		●
									事後評価	確定見込み ●	43	事後評価	△	
指標3	地区内人口	人	平成20年7月1日時点の人口データと過去5年間の傾向から評価基準日の人口を推計する。	-	1,864	H15	2,500	H20	モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み ●	2,660	事後評価	○	
指標4									モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み		事後評価		
指標5									モニタリング			モニタリング		
									事後評価	確定見込み		事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	計画通りに事業が完了する見込み。	
指標2	評価は上がったが、まだ区画整理地内も含め道路など工事中なので目標値までは上がらなかった。	今回の指標は、5年に1度程度行っている市民アンケートの数値を利用したため、アンケート内容が市全体の評価になっている。アンケート調査結果を指標にする場合、対象者や内容を考慮する必要がある。
指標3	土地区画整理事業も順調に進んでいるため期待以上の人口増があった。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公園設計における住民ワークショップ	予定どおり実施した	●【実施頻度】計4回 【実施時期】平成19年7月～10月 【実施結果】公園の整備内容について地元住民の意見を聞き、設計に反映した。	整備後の公園の日常管理について、地元町会などに委託する予定。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
まちづくり懇談会	予定どおり実施した	● 三郷中央地区のまちづくりに関することについて委員を招集し意見を求めた。	三郷中央地区まちづくり懇談会	今後も定期的を開催する予定。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

### (3) 効果発現要因の整理

#### 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり事業庁内説明会	課長級職員(道路治水課、みどり公園課、都市計画課、企画調整課等庁内全課)	平成20年10月31日	まちづくり事業課(まちづくり交付金主管課)

#### 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標3	指標○	指標○				
指標名		地区内緑地率	地区内人口						
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(市道7001~7005号線)	-	市道整備に伴い道路沿いに緑地(ポケットパーク)を整備し、池の上部を有効に活用するため多目的広場や公園を整備したため、予定どおりの緑地面積を整備できた。	○	市道整備や交差点改良を行い駅へのアクセスを改善したこともあり、土地区画整理事業地区外の開発も行われている。また、土地区画整理も順調に進捗しており、地区内人口が増加している。				
	道路(交差点改良)	-		○					
	地域生活基盤施設(市道緑地)	◎		○					
	地域生活基盤施設(栄調節池・新和調整池)	◎		○					
	高質空間形成施設(電線類地中化)	-		○					
	高質空間形成施設(バスシェルター)	-		○					
	高質空間形成施設(谷中調整池排水路整備)	-		○					
提案事業									
関連事業	三郷中央一体型特定土地区画整理事業	◎		◎					
	公園整備事業	◎		-					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2			指標〇			指標〇			指標〇			
指標名		生活環境評価												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	道路(市道7001~7005号線)	△	市道整備や道路改修による歩道整備により、道路対策の満足度が上がったが、区画整理地内や地区外において、まだ工事中の箇所があるので目標値までは上がらなかった。	I										
	道路(交差点改良)	△												
	地域生活基盤施設(市道緑地)	-												
	地域生活基盤施設(栄調節池・新和調整池)	-												
	高質空間形成施設(電線類地中化)	△												
	高質空間形成施設(バスシェルター)	△												
提案事業	高質空間形成施設(谷中調整池排水路整備)	△												
関連事業	三郷中央一体型特定土地区画整理事業	△												
	公園整備事業	-												

※目標未達成への影響度

- ××:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △:数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I:内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II:外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III:外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	今後も区画整理事業の円滑な推進と区画整理地区外の道路や歩道整備を行う。		
------------------	-------------------------------------	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり事業庁内説明会	課長級職員(道路治水課、みどり公園課、都市計画課、企画調整課等庁内全課)	平成20年10月31日	まちづくり事業課(まちづくり交付金主管課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
土地区画整理事業によるまちづくり	順調に進捗している		駅周辺のにぎわい創出
地区を横断し東西の人の動線となる道路整備や区画整理地区外の道路整備	東西の道路は整備された。	・区画整理地区境の道路整備。 ・区画整理地区外にある駅へアクセス道路における歩行者の安全確保	
川や緑の自然と共生した環境をつくり市の新たな都市拠点を形成する	第二大場川の両岸に公園を整備し遊歩道を整備した。また調節池を多目的広場として整備するなど、親水性を考慮した整備を行った。	・第二大場川の美化	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

**添付様式5-③ 今後のまちづくり方策**

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
<p>A欄 効果を持続させるため に行う方策</p>	魅力あるまちづくりにより市の新しい拠点として都市機能を集積させる	駅周辺の商業地域についてこれから本格的にビルドアップが始まる。市としても企業や店舗の誘致を行い、地権者や業者に対して街並みや景観に配慮した建物を建築するようお願いする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致</li> <li>・三郷中央地区タウンガイドの作成</li> </ul>

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
<p>B欄 改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未達成の目標を達成するための改善策</li> <li>・未解決の課題を解消するための改善策</li> <li>・新たに発生した課題に対する改善策</li> </ul>	区画整理地区境の道路整備と区画整理地区外の歩行者安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理の進捗にあわせ地区境の道路整備を行う。</li> <li>・新駅開業の影響で区画整理地区外の交通量が増え、新たに住宅も張りつき人口も増えているため、既存の道路や水路を改修し歩行者等の安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良</li> <li>・水路整備</li> </ul>
	第二大場川の美化	市としては駅前に流れる第二大場川周辺について、良好な環境を保ち癒しのスポットとなるよう整備したいと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二大場川の清掃</li> <li>・噴水設置</li> </ul>
	駅周辺のにぎわい創出	駅前の公共施設設置について市民からの要望もあり、駅前にある公益施設用地の活用を暫定的な利用も含めて検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設検討業務</li> <li>・公共施設整備事業</li> </ul>

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
- 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

**添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見**

**添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	地区内緑地率	%	3	H16	5	H20	確定 見込み ●	5	○	あり なし	→	平成21年4月	平成21年3月31日時点の地区内緑地を図上計測する。	
指標2	生活環境評価	%	34	H14	50	H20	確定 ● 見込み	43	△	あり なし ●	→	平成21年4月	当事業に関するアンケート調査を行う。	今後のまち交事業の参考のため、独自のアンケート調査を行う
指標3	地区内人口	人	1,864	H15	2,500	H20	確定 ● 見込み	2,660	○	あり なし	→	平成21年4月	平成21年3月31日時点の地区内人口を確定値とする。	
指標4				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
指標5				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
その他の数値指標1				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標2				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標3				H			確定 見込み				→			

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	事業が順調に進んだため数値目標を達成できた。	数値目標を設定する際は、定期的に確認できる数値を用いるとモニタリングが容易になる。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		まちづくり交付金事業についてのアンケートを行い、各事業ごとの満足度評価を調査したほうがよい。
	うまくいかなかった点	生活環境調査(市民満足度アンケート)については全市的な調査のため、まち交事業及び都市再生整備計画区域内の評価としては正確な数値とは言えない。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・公園設計にあたり地元住民とワークショップを行い、住民の意見を反映した公園を整備できた。 ・住民と設計段階から意見交換することで整備後の管理についても地元町会の協力を得られることができた。	住民とのワークショップは、新規の公共施設設置事業において円滑に事業を進めるうえで有効である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点	モニタリングを実施する計画がなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- 今後のまちづくり交付金の活用予定  
本地区(三郷中央地区)については、区域を拡大して第二期の整備を計画している。
- 事後評価予定地区  
平成22年度に「三郷インターチェンジ周辺地区」において事後評価の実施予定。



## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに記載	平成20年11月4日～11月17日	平成20年11月4日～11月17日	担当課への 電話と電子メール	まちづくり事業課 (まちづくり交付金担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	まちづくり事業課にて閲覧	平成20年11月4日～11月17日	平成20年11月4日～11月17日		

住民の意見	なし
-------	----

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

### 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	前田 英寿 東京大学非常勤講師(都市計画・都市デザイン・まちづくり専攻)	平成20年11月27日	まちづくり事業課 (まちづくり交付金担当課)	三郷市公共事業評価監視委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	三郷中央地区土地区画整理審議会 会長 谷口南町会 会長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・評価結果について妥当と認められた。
	実施過程の評価	・住民参加のワークショップについては、今後整備される公園等でも実施してほしいという意見があった。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因について適切に整理されたことが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、適切に公表されたことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きについて妥当と認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・第二大場川の水質改善など、今後もまちづくり交付金を活用し三郷オリジナルのソフト施策を行ってほしいという意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップ計画について確認された。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策について妥当と認められた。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

# 都市再生整備計画(第2回変更)

み さ と ち ゅ う お う ち く  
三郷中央地区

さいたま みさとし  
埼玉県 三郷市

平成20年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・土地区画整理事業の整備にあわせて、第二大場川周辺における栄調節池や第二大場川の緑道整備などを行うことにより、三郷市の貴重な資源である川や緑の自然と共生した環境作りが可能となる。単なる基盤整備を行う開発ではなく、自然と共生した環境作りを、三郷市の地理的特徴である水と緑をいかした基盤整備を行うことにより水と緑を体感できる街づくりを目指す。</p>	<p>・地域生活基盤施設[栄調節池、新和調整池における緑地整備]</p>
<p>・つくばエクスプレス開業に向けて、新駅への人の動線を確保して交通環境の改善を図るため鉄道側道整備や都市計画道路と国道298号の交差点改良、既設排水路の改修にあわせて歩行者空間を整備する。また、江戸川と中川を結ぶ緑のネットワークの構築を図るために緑地整備を行い、安全で安心できる、安らぎと潤いのあるまちづくりを目指す。</p>	<p>・道路[市道7001号線、市道7002号線、市道7003号線、市道7004号線、市道7005号線、交差点改良]          ・地域生活基盤施設[市道7001号線緑地、市道7003号線緑地、市道7004号線緑地]</p>
<p>・新駅周辺の都市機能整備を行うことにより、市の新たなまちのシンボルとなる都市拠点の形成を図る街づくりを目指す。</p>	<p>・高質空間形成施設[駅前交通広場におけるバスシェルター整備、区画道路の電線類地中化整備、谷中調整池排水路整備]</p>
<p>その他</p> <p><b>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</b>            当地区においては、三郷中央地区まちづくり懇談会において市民との対話の中から今後整備される各公共施設の整備及び利用方策を検討し、地域の街づくり活動を推進していく考えである。また、当事業によって整備される緑地施設においては、その施設の維持管理についても三郷中央地区まちづくり懇談会や周辺町会との話し合いの中で市民と市との協働による維持管理の方策を検討していくことを考えている。</p>	

### <都市再生整備計画の整備方針等>

#### 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,045	交付限度額	418	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道7001号線	三郷市	直	L=243m	H16	H17	H16	H17	147	147	147		147
道路		市道7002号線	三郷市	直	L=263m	H17	H18	H17	H18	143	143	143		143
道路		市道7003号線	三郷市	直	L=277m	H17	H18	H17	H18	166	166	166		166
道路		市道7004号線	三郷市	直	L=218m	H17	H20	H17	H20	62	62	62		62
道路		市道7005号線	三郷市	直	L=219m	H17	H20	H17	H20	57	57	57		57
道路		交差点改良	三郷市	直	A=1,200㎡	H19	H19	H19	H19	70	70	70		70
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	三郷市	直	—	H16	H20	H16	H20	210	210	210		210
高質空間形成施設		—	三郷市	直	—	H16	H20	H16	H20	190	190	190		190
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,045	1,045	1,045	0	1,045
…A														
提案事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業														0
														0
														0
事業活用調査		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活動推進事業		—			—									0
		—			—									0
合計										0	0	0	0	0
														…B
													合計(A+B)	1,045

